

アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	豊浦町アイヌ施策総合対策事業
2 事業の種類	(文化振興事業)(<u>地域・産業振興事業</u>)(<u>コミュニティ活動支援事業</u>) の別
3 事業の目的	アイヌ文化等の次世代への承継を確実なものとするとともに、地域に存するアイヌ文化等を発信し、内外におけるアイヌ関連の交流活動を活発化させ、魅力ある地域社会の形成を目的とする。
4 事業の概要	(1)文化振興事業 (2)地域・産業振興事業 ①アイヌ文様ラッピングバス事業 ○事業実施主体 豊浦町 ○事業の実施場所 豊浦町一円 ○事業の実施期間 交付決定日～令和8年3月 ○事業の内容と考え方 生活館(地域住民交流の場)を拠点にアイヌの人々の利便性を確保するバス運行をすると共に、アイヌ文化への理解を促進する広告や音楽放送を車内で実施する。バスの利用予定者数はアイヌの方々を含む年間約14,400人を目標としており、町内循環型の公共交通網整備と併せ、アイヌ文化情報発信施設イコリへの観光客にも対応できるものである。また、伝統儀式カムイノミ・イチャルパ開催時に当該バスを利用してアイヌ文化施設までの送迎臨時便を設けることで、より多くの方に向けてアイヌ文化の理解促進を図る。 (3)コミュニティ活動支援事業 ①アイヌ文化継承発信事業 ○事業実施主体 豊浦町 ○事業の実施場所 アイヌ文化情報発信施設「イコリ」内 ○事業の実施期間 交付決定日～令和8年3月

	○事業の内容と考え方 カムイノミ・イチャルパで使用するイナウの作成を豊浦のアイヌの若者へ伝達を行うとともに、イコリや礼文華キャンプ場を訪れた方に、昔のアイヌの生活や風習、言い伝えを話しながらイナウ作りを体験してもらい、アイヌの若者に文化の伝承、キャンプ客にはアイヌ文化に触れてもらう機会を作る。
5 アイヌ施策推進地域計画における記載	4ー1 観光の振興その他の産業の振興に資する事業 ■ アイヌ文様ラッピングバス事業・・・生活館（地域住民交流の場）を拠点にアイヌの人々の利便性を確保するバス運行をすると共に、アイヌ文化への理解を促進する広告や音楽放送を車内で実施する。アイヌ関連イベント開催時には臨時便を出し、より多くの方に向けてアイヌ文化の理解促進を図る。 4ー2 コミュニティ活動支援事業 ■ アイヌ文化継承・発信事業・・・アイヌの若者や礼文華キャンプ場を訪れた方に、昔のアイヌの生活や風習、言い伝えを話しながらイナウ作りを体験してもらい、アイヌの若者に文化の伝承、キャンプ客にはアイヌ文化に触れてもらう機会を作る。
6 事業の成果目標等	
(1) 成果目標の達成に向けた工程	(1)文化振興事業 (2)地域・産業振興事業 ①アイヌ文様ラッピングバス事業 アイヌの人々の利便性と生活の質を高めたり、アイヌ文化の理解促進に向けた広告を行うことによって、アイヌの人々が誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、人口減少に伴うバス利用者の減少は見込まれるものの、車内にアイヌ文化への関心を高める仕掛けを施したり、アイヌ関連イベント開催時は臨時便を設けるなどして利用者を増やす取組を行うことで現状値を維持する。 (3)コミュニティ活動支援事業 ①アイヌ文化継承発信事業 イナウの作成講習と風習伝達のため外部講師を招致し豊浦アイヌ協会会員へ文化理解を深めるとともに、イコリへ訪れた方などへ定期的にイナウの作成体験を行うことで、アイヌ文化について幅広く発信を行いアイヌ文化に触れることができる機会を創出する。
(2)成果目標、(中間)目標年度(成	(1)文化振興事業 (2)地域・産業振興事業

果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)	①アイヌ文様ラッピングバス利用者数 (現状値) 令和6年度 14,400人／年間 (中間目標)令和8年度 14,400人／年間 (最終目標)令和10年度 14,400人／年間 成果目標は達成する見込み。 (3)コミュニティ活動支援事業 ①アイヌ文化発信施設「イコリ」利用者数 (現状値) 令和6年度 21,600人／年間 (中間目標)令和8年度 21,900人／年間 (最終目標)令和10年度 22,100人／年間 成果目標は達成する見込み。
(3)成果目標の確認方法	KPIであるアイヌ文様ラッピングバス利用者数とアイヌ文化発信施設「イコリ」利用者数の実績値を公表する。また、有識者等により、目標の達成状況等について検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。
7 地域の概要	
(1)地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題	豊浦町においては、豊浦の旧名「ベンベ」や「レブンケプ」など40か所ほどのアイヌ語由来の地名が残されているとともに、明治初期までに、町内の本町地区や礼文華地区などにコタンが存在していたが、礼文華地区においては30戸ほどからなるレブンケプコタンがあったとされ、歴史的にアイヌ文化等に関わりが深い。 豊浦町には昭和57年3月2日に社団法人北海道ウタリ協会豊浦支部が設立され、その後、平成26年4月1日に北海道豊浦アイヌ協会へ組織を改め、アイヌ文化の復興や伝承を図ってきた。 令和4年度には本交付金を活用して、アイヌ文化体験交流施設とアイヌ文化発信施設「イコリ」が開所。アイヌの伝統的儀礼の開催やアイヌ民族衣装の作成事業等、アイヌ文化等の発信拠点としている。 アイヌ文化体験交流施設とアイヌ文化発信施設「イコリ」がある礼文華海浜公園は、キャンプ場機能も備えており、夏になると多くのキャンパーが訪れる。このような方たちも含め、町内外の誰もが豊浦のアイヌ文化に触れられ、世界へ発信してもらえるような海浜公園の再整備とともにアイヌ文化伝承活動が急務である。 さらに、礼文華地区を拠点とする町内循環型の公共交通網整備と併せ、2022年5月、礼文華海浜公園内に開業したアイヌ文化情報発信施設イコリに多くの観光客が訪れてもらえるようイコリとJR駅を結ぶ公共交通の充実やアイヌ文化への理解が促進されるような車内広告やアイヌ伝統音楽の放送を行うと共

	に、伝統儀式カムイノミ・イチャルパ開催時は臨時便を運行し、外国人観光客等に対応するため、礼文華海浜公園におけるインフォメーション機能の充実を図るとともに、町内全域におけるさらなるアイヌ文化に対する機運を高める必要がある。
(2)施設等の管理 運営体制	
(3) アイヌ関係団 体及び地域住民 の協力体制	北海道豊浦アイヌ協会、礼文華自治会とは定期的に意見交換を行っている。

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
国庫補助金	26,711,000	26,468,000	243,000	0
市町村負担額	6,678,920	6,617,000	61,920	0
計	33,389,920	33,085,000	304,920	0

(2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
文化振興事業	0	0	0	0
・調査費	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0
・文化振興事業費	0	0	0	0
賃金	0	0	0	0
報償費	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0
原材料費	0	0	0	0
・市町村事務費	0	0	0	0
職員旅費	0	0	0	0
地域・産業振興事業	33,257,000	33,085,000	172,000	0
・調査費	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0
・地域・産業振興事業費	33,257,000	33,085,000	172,000	0
賃金	0	0	0	0
報償費	0	0	0	0
委託料	33,257,000	33,085,000	172,000	0
工事請負費	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0
原材料費	0	0	0	0
・市町村事務費	0	0	0	0
職員旅費	0	0	0	0
コミュニティ活動支援事業	132,920	0	132,920	0
・調査費	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0
・コミュニティ活動支援事業費	132,920	0	132,920	0
賃金	88,920	0	88,920	0
報償費	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0
原材料費	44,000	0	44,000	0
・市町村事務費	0	0	0	0
職員旅費	0	0	0	0